

2021年度 学校法人辻料理学館
辻調理師専門学校 辻製菓専門学校 学校関係者評価委員会

議事録

| | |
|-------|--|
| 日 時 | 2021年11月20日(土) 14時00分～16時00分 |
| 場 所 | 辻調理師専門学校 本館3階 教室 |
| 出 席 者 | <p>【学校関係者評価委員】</p> <p>第1号委員 在校生保護者 廣田 知香 (辻調理師専門学校 在校生 保護者) 辻 由佳 (辻製菓専門学校 在校生 保護者)</p> <p>第2号委員 卒業生委員 富原 聡志 (日本料理 滴 店主) 森 貞夫 (株式会社 柏屋葛城堂 代表取締役社長) *副委員長</p> <p>第3号委員 業界関係者 辻岡 久味 (株式会社ホテルグランヴィア大阪 総務企画部 総務課 担当課長) 富澤 利加 (株式会社 HRO ハイアットリージェンシー大阪 人事部 部長)</p> <p>第4号委員 高等学校等学校関係者 山下 善啓 (大和高田市立高田商業高等学校 教頭) 松本 太郎 (大阪府立 枚方津田高等学校 学年主任) 木村 泰一 (学校法人 山口学園 ECC 国際外語専門学校 学園留学生事業部 ECC 留学センター センター長)</p> <p>第5号委員 地域有識者 島田 顕介 (株式会社 りそな銀行 阿部野橋支店 支店長) *委員長 浅野 京子 (大阪市阿倍野区役所 教育支援担当課長 兼 大阪市教育委員会事務局 総務部阿倍野区教育担当課長)</p> <p>【学校側出席者】 辻 芳樹 (辻調理師専門学校/辻製菓専門学校 校長) 山田 研 (辻調理師専門学校/辻製菓専門学校 校長特別補佐) 棟方 浩一 (学校法人辻料理学館 法人本部 本部長) 田中 祐司 (学校法人辻料理学館 法人本部 事務局長) 尾崎 一正 (辻調理師専門学校 運営責任者) 立嶋 穰 (辻製菓専門学校 運営責任者)</p> |
| 配布資料 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 議事次第 ▶ 学校関係者評価委員会規程(改定案) ▶ 学校関係者評価委員会規程 新旧対象表 ▶ 学校関係者評価委員会 委員名簿 ▶ 辻調理師専門学校 2020年度自己点検・評価報告書 ▶ 辻製菓専門学校 2020年度自己点検・評価報告書 |
| 議 題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校関係者評価委員会規程の改定 2. 自己点検・評価結果の概要説明・質疑応答・意見交換 |
| 議事経過 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 定刻となり、事務局は開会を宣した。 2. 委員紹介 事務局より、委員の紹介がなされた。 |

| | |
|------|---|
| 議事経過 | <p>3. 校長挨拶 校長より、開会の挨拶と本会議の目的について説明があった。</p> <p>4. 配布資料の確認 事務局より、配布資料の確認がなされた。</p> <p>5. 委員長などの選出 委員会規程に基づき、委員の互選により、委員長に島田氏、副委員長に森氏が選出された。</p> <p>6. 議事</p> <p>1) 学校関係者評価委員会規程の改定（説明者：棟方本部長） 棟方本部長より、資料「学校関係者評価委員会規程 新旧対象表」をもとに変更事項、変更理由について説明の後、確認、了承された。</p> <p>2) 自己点検・評価結果の概要説明および質疑応答・意見交換（説明者：尾崎運営責任者、立嶋運営責任者、棟方本部長） 資料「2020年度自己点検・評価報告書」をもとに、尾崎運営責任者より辻調理師専門学校（以下、「調理」という。）について、立嶋運営責任者より辻製菓専門学校（以下、「製菓」という。）の自己点検評価結果について、また、一部の項目について棟方本部長より、それぞれ説明がなされた。項目ごとに説明の後、つど、質疑応答、意見交換が行われた。</p> <p>7. その他 事務局より、次回の会議については令和4年1月29日（土曜日） 14時00分より行う旨、事務連絡が行われた。</p> <p>8. 閉会 最後に、辻校長より、本日の委員会質疑への謝辞が述べられた後、事務局は閉会を宣し、散会した。</p> |
|------|---|

●委員による評価および意見・要望

| 評価 | 意見・要望 |
|---|--|
| (1) 教育理念・目的 | |
| <p>建学の精神のもと、教育理念、将来構想を掲げ、教職員間で共有しながら、調理師および製菓衛生師の養成に積極的に取り組んでいる。</p> | <p>▶ より一歩進んで、高校生には教育理念・目的を理解、納得し、志望動機が固まるよう努めていただきたい。</p> |
| (2) 学校運営 | |
| <p>辻調理師専門学校、辻製菓専門学校ともに、法人の運営方針に基づき、事業計画を策定し、適切に運営できている。 コロナ禍において情報伝達のデジタル化等有効な手段が講じられている。</p> | <p>▶ 情報伝達のデジタル化は、今後は主流になっていくところだと思うので引き続き取り組んでいただきたい。</p> |
| (3) 教育活動 | |
| <p>建学の精神や教育理念に沿った教育課程の編成を策定し、学科のカリキュラムを体系的に編成している。また、教育課程編成委員会や関係企業や業界団体との連携によりカリキュラムの見直しを行っている。資格取得の支援体制も整っており、学生及び教員の人材育成に取り組んでいる。</p> | <p>▶ コロナ禍でのオンライン授業で、授業についていけない学生がいること(またはその可能性)に留意して、理解が向上するように引き続き努めていただきたい。</p> |
| (4) 学修成果 | |
| <p>退学率については、学生同士で助けあう「ピアサポート」や「アバシステム」を取り入れている。取り組みの改善、退学率の低減は引き続き求めていく。 就職率については年度末は目標値には達したが、コロナの影響から年度途中には低い数字を示した。</p> | <p>▶ 日本語能力が低い留学生やその動向など、留学生に注目したデータを活用してみてもどうか。 ▶ 卒業後のデータを集めるよう努めていただきたい。</p> |
| (5) 学生支援 | |
| <p>保健師を常駐させており、心のケアについて学内に相談室を設置し、相談員を配して対応している。日々の健康状態の把握に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の対策マニュアルを作成し、対応した。また、問題対応だけでなく、学生の学びの支援として、コンクール出場のサポートや課外イベントの企画も行っている。</p> | <p>▶ 体調不良があったときにも、本人が落ち込まないようにサポートする体制があり安心している。 ▶ 就職が決まっていない学生向けに就職活動が進められる催しが実施され、担任の先生から指導があることを聞くので安心している。 ▶ コンクール等の参加で貴重な経験をさせてもらい感謝している。 ▶ ワクチン接種では、居住地は大変遅れていたもので、大変感謝している。</p> |
| (6) 教育環境 | |
| <p>教員は料理や製菓・製パンのジャンル別に専門教員を有し、理論および実習授業を担当することで、専門性の高さを担保している。 施設設備についても分野ごとの厨房を想定した設備や機器を備えるとともに、ランニングコストの軽減につながるよう計画的に更新工事を行っている。</p> | <p>▶ 特になし</p> |

| | |
|--|---|
| (7) 学生の受け入れ募集 | |
| <p>入学選考委員会が組織され、学生の募集、選考については適宜検討がなされ、コンプライアンスを遵守し、適正に運営されている。また、コロナ対策としてオンラインによる催しの機会を増やし、教育内容や教育成果を伝えるよう工夫した。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 高校の現場においては専門学校とミスマッチが生じるので3ポリシーやキャリアマップなど十分な説明をお願いしたい。 ▶ AO入試の出願が9月1日に開始するため、その時期に出願しなくてはならないと勘違いしている学生がいる。入試区分と出願時期について学生が誤解しないよう、説明をお願いしたい。 ▶ 辻調理師専門学校、辻製菓専門学校は海外での認知度が非常に高い。海外の飲食店で卒業生に会うことも度々あるし、入学検討者に丁寧に説明している様子がよくわかる。 |
| (8) 財務 | |
| <p>事業活動収支計算書の教育活動収支では教育活動収支差額では約640万円のマイナスに、教育活動外収支差額では約1億3000万円のプラスになっており、経常収支差額は約1億2500万円プラスとなっている。年度の臨時的な特別支出があったため基本金組入前当年度収支差額はマイナスになっているが、財務基盤を揺るがすものではない。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ▶ コロナのタイミングで収益性を高めている企業もあるなか、辻料理学館においても収支差額を縮めるように経営努力をされている経緯が見える。純資産もあり、引き続き財務基盤の強化につとめていただきたい。 |
| (9) 法令などの遵守 | |
| <p>関係法令や学内の規則・規程に基づき適切に業務を執行している。また、個人情報の適正な取り扱いや、自己点検を実施し、必要な情報を公開している。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 特になし |
| (10) 社会貢献・地域貢献 | |
| <p>業界団体や地方公共団体からの依頼を受けて会場提供や人員協力を行うなど、学校の教育資源を活かした社会・地域貢献に積極的に取り組んでいる。SDGsに関する学生サークル活動を立ち上げ、子ども食堂でのボランティアに取り組んだ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 区役所は学生の活動について非常に評価している。学生の熱意や取り組みに感心した。今後も地域のボランティア活動等にかかわっていただきたい。 |
| (11) 国際交流 | |
| <p>増加する留学生を入学前から卒業まで一貫して支援するため、外国語のできる専門の職員を配置し、日々の相談はもとより、「特定活動ビザ」や「特定技能ビザ」による就職の支援にも取り組んでいる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 留学生の支援を引き続きお願いしたい。 |

作成日 令和3年11月20日